



高崎市認知症地域支援推進員たより

第2号



本人ミーティング開催 に向けて

★本人ミーティングとは？



認知症の本人が集い、本人同士が主になって、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場です。

★なぜ、本人ミーティングが必要？

《本人》

- ◆声をよくきいてもらえない
- ◆わかってくれる人、仲間に出会えない
- ◆生きていく張り合いがない

《地域の人、支援関係者、行政》

- ◆本人の声をよくきいたことがない
- ◆本人のことが、よくわからない
- ◆つきあい方、支え方がよくわからない



○本人が仲間と出会い、思いを素直に語れる場/聴く場が、地域にあったらお互いが、楽に、元気になれる。

現在の活動

本人ミーティングを開催した方からのお話を伺いました!!



《田部井康夫氏》

公益社団法人
認知症の人と家族の会
群馬県支部代表

・・・本人ミーティングを開催して・・・

「家族の会」主催なので、家族と一緒に参加する形で企画した。家族と一緒に過ごす時間、家族と本人別々の時間をそれぞれ設けた。定員10名と少人数で行うことにより、自分の話もできるし、他の参加者の話も聞けるようにした。同じ立場の人同士だと本音で話せる。本人同士が話し合う場があることはとても大切と実感できた。笑いあいの楽しい会になった。

・・・参加者からの感想・・・

- ♥楽しい話ができて良かった。
- ♥初めて病気の人と話すことができて良かった。
- ♥自分のしたいことを話すことができた。



高崎市内でも開催できるよう情報を収集しつつ、今後も活動していきたいと思えます！関心のある方は、高齢者あんしんセンターまでお問合せください。

*現在活動している当事者の方の声は、一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループHPをご覧ください。

[本人ワーキング](#)

[検索](#)

裏面もあります



今までの取り組み

今まで認知症地域支援推進員が取り組んできた活動をご紹介します☆



高崎市の認知症の取り組み
(高崎市ホームページ)

『こころの声』の作成

私たちは、“認知症の人を介護している家族を支えることができる地域づくり”を進めています。その中で、リアルな家族の思いを知ることが必要だと思い、アンケートを実施して冊子にしました♪
アンケートでは、152名から回答が得られました☆



こんな声が多く集まりました*

周回の理解が必要

気軽な相談・情報交換の場が欲しい

精神的に支えてくれる人がいるといい



認知症の本人・家族の声を届ける講演会などの開催

『支え合おう』認知症講演会 ～地域で暮らしていくために～

認知症は、病気のためにより症状が現れ、自らの生活の中で生きる力を失ってしまいがちですが、適切な介護の正しい知識と適切なケアは、生活の質を向上させてくれることができます。

高崎には、『認知症になっていく中で何を懸念しつつ暮らされる高崎市』を目標とし、高崎市認知症対策推進委員会「認知症対策推進委員会」を組織しています。

会場では、地域での認知症の理解を深める活動などを実施しています。

認知症の対策について、認知症の家族や介護者、認知症の人や介護者、その支援者が語るメッセージに耳を傾けました。

日時：平成28年10月25日(水) 13:30～15:30
 会場：高崎市認知症ケアセンター 第一会議室
 内容：認知症の正しい知識と適切なケアの紹介、認知症の家族からのメッセージ

対象：市民、在住の外国人、自らの人
 定員：200名
 入場：無料
 申込：高崎認知症ケアセンター認知症地域支援推進員
 申込先：高崎市認知症ケアセンター 第一会議室
 電話：027-251-1319(直通)
 メール：info@shimazaki-cc.jp

H28年に、『支え合おう』認知症講演会～地域で暮らしていくために～を開催しました！
100名近くの方が参加し、認知症の人や介護者、その支援者が語るメッセージに耳を傾けました。



H31年には、認知症のお母さまの介護をしている、アナウンサーの岩佐まりさんに講演をしていただきました。
認知症地域支援推進員も、認知症介護をしている地域の方々の声を届けました。

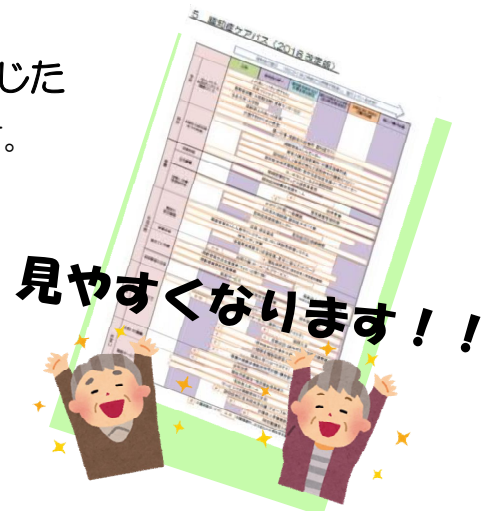


認知症ケアパスの作成

認知症ケアパスとは、認知症の人の状態に応じた適切なサービス提供の流れをまとめたものです。

推進員たより第1号で紹介した、『オレンジガイドブック』の中に掲載されています。

現在、推進員が意見を出し合い、見やすく分かりやすいケアパスを考案中です♪



お問い合わせは最寄りのあんしんセンターへ

